

## 高齢者の暮らし 学生にも関心を

八学大で説明会

シニア向けの生活支援事業「まごころサポート」を展開する、八戸市のデーリー東北まごころサポート事務局は19日、八戸学院大で説明会を開いた。参加した

学生ら25人が、高齢者の快適な暮らしを支えるコンシエルジュの活動に理解を深めた。

まごころサポートは、同市など6市町村でサービスを提供。現在、20〜70代の約40人がコンシエルジュとして活動しており、大学生にも関心を持ってもらおう

と初めて開いた。

説明会では、まごころサポートデーリー東北八戸店の宮里峻矢店長が、シニアの困り事や活動の内容、学生がコンシエルジュとして働くメリットなどを紹介した。

地域経営学科3年の大須賀智哉さん(21)は「高齢者を支援する取り組みに興味を持つことができた」と話していた。(松橋瑠偉)

コンシエルジュの活動について説明する宮里峻矢店長(中央) 19日、八戸学院大